



措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
3-5-3	内原郷土史義勇軍資料館における展示の充実	継続	◎					■	■
3-6-3	び〜すプロジェクトの実施	継続	◎		*	*		■	■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進(キャリアプラン)	継続	◎					■	■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	継続	◎					■	■
4-1-6	伝統文化親子教室の開催支援	継続	◎		○			■	■
4-2-1	いきいき出前講座の推進	継続	◎					■	■
4-2-6	自然観察会の開催	継続	◎					■	■
4-2-7	水戸市郷土民俗芸能のつどいの開催支援	継続	◎			○		■	■
4-2-8	民俗芸能団体への支援の充実	継続	◎					■	■
4-2-9	図書、資料の充実	継続	◎					■	■

(3) 関連文化財群 3

① 名称 茨城の真ん中で発展したまち

② ストーリー

本市は茨城県の中央に位置し、古代から政治・社会・経済の中心地として発展してきました。古代には台渡里官衙遺跡群が常陸国那賀郡の郡家として地域支配の中心となりました。中世になるとその中心は水戸城に移り、大掾氏、江戸氏、佐竹氏が城主となり城域を拡大していきました。近世になると、水戸城と城下町は更に拡大され、常陸国の中心地となりました。武家地とともに町人地も整備され、現在も続く伝統産業が生まれました。

さらに、水戸彰考館や弘道館は学問・教育施設として全国的にも名を馳せ、全国屈指の教育先進藩として知られる水戸藩の教育的伝統の中心地となりました。

近代以降も旧城下町は中心市街地として栄え、旧茨城県庁舎や泉町会館、水戸芸術館など、各時代の特徴的な建造物が立ち並んでいます。また、現在の茨城大学周辺には陸軍衛戍が設置され、本市は軍都としての性格も帯びました。水戸空襲による被災遺構や戦争関連の文化財も多く存在し、戦争の記憶が語り継がれています。(→86ページも参照)



③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	旧水戸城薬医門	有形文化財	建造物	県指定	三の丸
2	祐月本店雛蔵	有形文化財	建造物	国登録	末広町
3	水戸市民会館	有形文化財	建造物	未指定	泉町
4	旧川崎銀行	有形文化財	建造物	未指定	泉町
5	泉町会館	有形文化財	建造物	未指定	泉町
6	茨城県庁	有形文化財	建造物	未指定	笠原町
7	水戸芸術館	有形文化財	建造物	未指定	五軒町
8	大工町交番	有形文化財	建造物	未指定	大工町
9	旧中島商店	有形文化財	建造物	未指定	栄町
10	水戸駅上りホーム運転詰所	有形文化財	建造物	未指定	宮町
11	水戸駅前のからくり時計	有形文化財	建造物	未指定	宮町
12	水戸地方気象台	有形文化財	建造物	未指定	金町
13	旧茨城県庁	有形文化財	建造物	未指定	三の丸
14	大手橋	有形文化財	建造物	未指定	三の丸
15	水府橋	有形文化財	建造物	未指定	三の丸外
16	水戸市鳥瞰図原図	有形文化財	絵画	未指定	大町
17	水戸駅前炎上図	有形文化財	絵画	未指定	大町
18	水戸御用留	有形文化財	古文書	未指定	三の丸
19	水戸町方御用留	有形文化財	古文書	未指定	緑町
20	台渡里宮衙遺跡出土銅印	有形文化財	考古資料	市指定	塩崎町
21	台渡里廃寺跡南方地区第1号工房跡出土資料	有形文化財	考古資料	市指定	塩崎町
22	水戸城二の丸角櫓跡出土鬼瓦	有形文化財	考古資料	市指定	塩崎町

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



No.	名称	類型		指定	所在地
23	台渡廃寺跡出土遺物	有形文化財	考古資料	未指定	塩崎町
24	七面製陶所跡第1～3次出土遺物	有形文化財	考古資料	未指定	塩崎町
25	水戸城跡出土一括埋納銭	有形文化財	考古資料	未指定	塩崎町
26	水戸城跡出土遺物	有形文化財	考古資料	未指定	塩崎町
27	木村家住宅 水戸空襲遺構 (附焼夷弾1点)	有形文化財	歴史資料	市認定	上水戸
28	空襲予告ビラ	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
29	焼夷弾(水戸投下分)	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
30	水戸城下絵図	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
31	水戸案内	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
32	水戸拓附版木	無形文化財		未指定	三の丸
33	水府提灯	無形文化財		未指定	新莊・袴塚・ 本町
34	旧弘道館	記念物	遺跡(特別史跡)	国指定	三の丸
35	台渡里官衙遺跡群 (台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡)	記念物	遺跡(史跡)	国指定	渡里町
36	水戸城跡(壘及び濠)	記念物	遺跡(史跡)	県指定	三の丸
37	水戸神社跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	笠原町
38	歴史の道 近世那須道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	未広町外
39	歴史の道 近世宇都宮道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	未広町外
40	七面製陶所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	常磐町
41	水戸鑄銭所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	浜田
42	釜神町遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	備前町
43	陸軍衛戍跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	文京外
44	歴史の道 近世飯沼道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町外



No.	名称	類型		指定	所在地
45	歴史の道 近世岩城相馬道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町外
46	歴史の道 近世棚倉道・南郷道	記念物	遺跡(史跡)	未指定	南町外
47	囲裏窯跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見和
48	大鋸町遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元吉田町
49	東組遺跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元吉田町
50	柳堤跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	柵町
51	水戸城惣構	記念物	遺跡(史跡)	未指定	中心市街地
52	江戸(水戸)街道宿場跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町
53	江戸街道起点	記念物	遺跡(史跡)	未指定	本町
54	弘道館記碑	その他の文化財	石造物	未指定	三の丸
55	水戸黄門まつり	その他の文化財	行事・イベント	未指定	泉町外
56	水戸金工	その他の文化財	特産品	未指定	—
57	水戸黒	その他の文化財	特産品	未指定	—
58	水戸の武道具	その他の文化財	特産品	未指定	—
59	水戸彫	その他の文化財	特産品	未指定	—
60	戦争の記憶 水戸空襲	その他の文化財	戦争の記憶	未指定	—
61	茨城県庁展望台からの眺めと 茨城県庁舎	その他の文化財	水戸の景観	未指定	笠原町
62	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁塀	その他の文化財	水戸の景観	未指定	三の丸
63	水戸市役所本庁舎	その他の文化財	水戸の景観	未指定	中央
64	ハミングロード	その他の文化財	水戸の景観	未指定	本町
65	中心市街地のまちなみ	その他の文化財	水戸の景観	未指定	南町外
66	宮下銀座	その他の文化財	水戸の景観	未指定	宮町

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



- ：有形文化財
- ：無形文化財・民俗文化財
- ：記念物
- ：その他の文化財

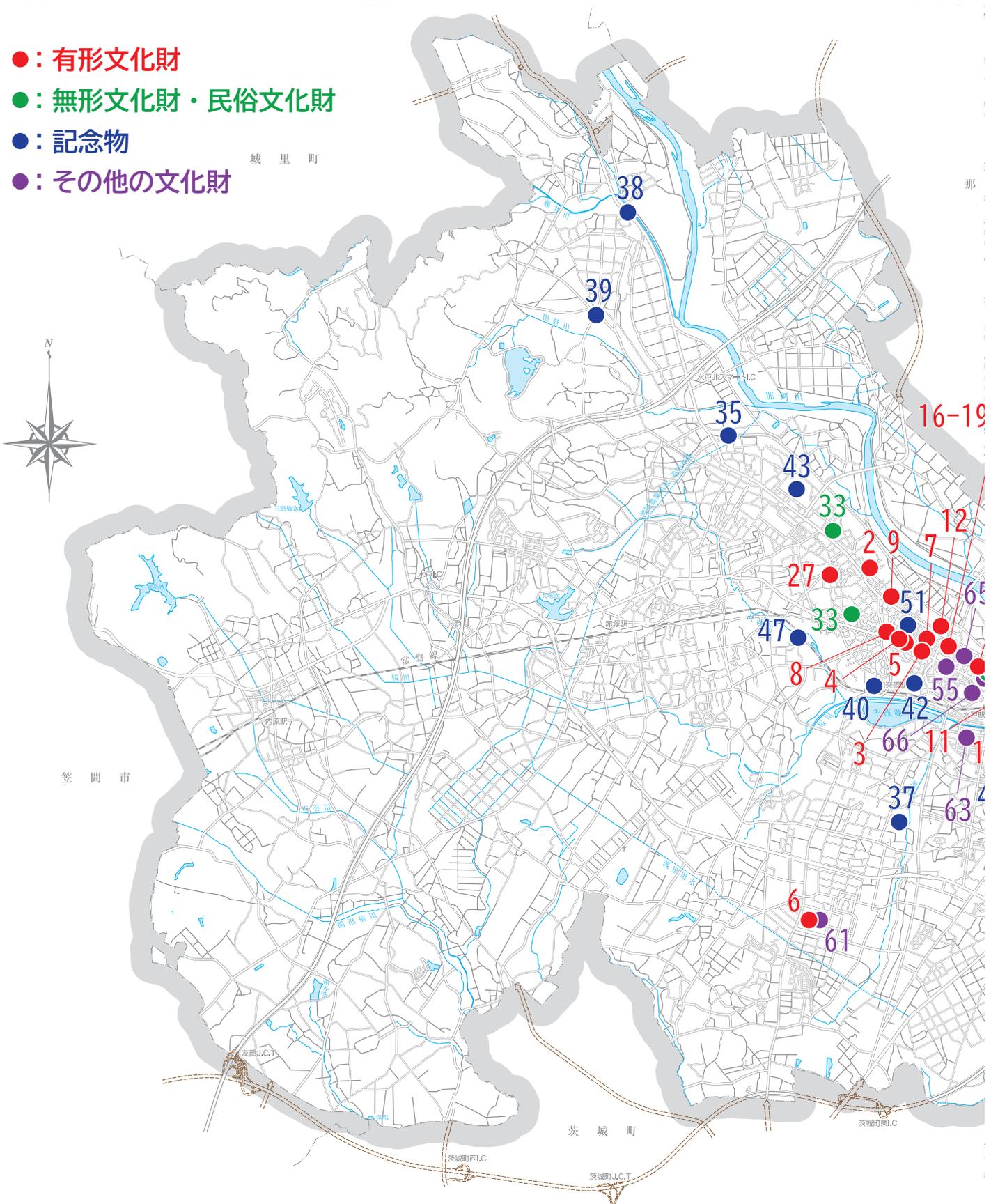


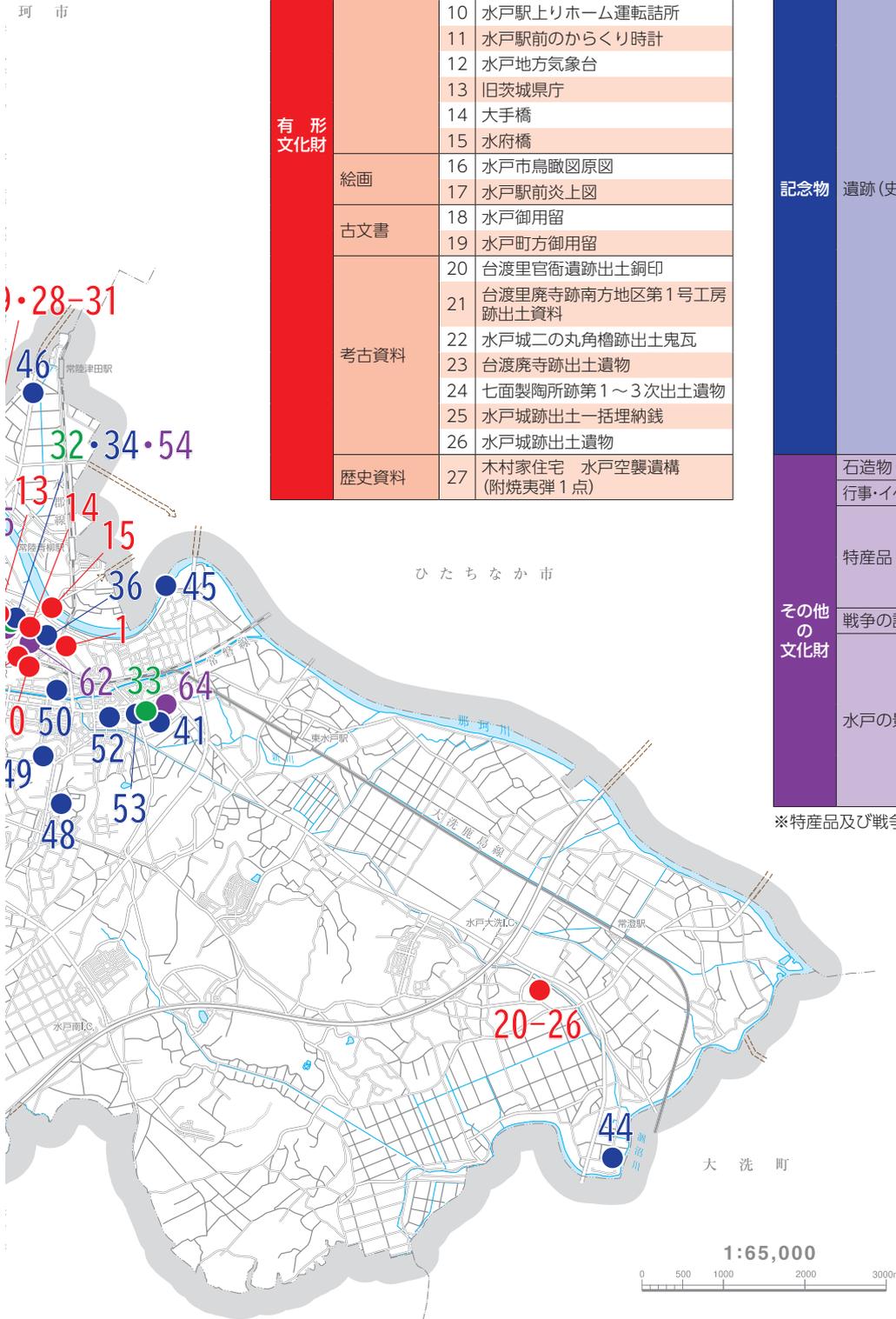
図8-4 関連文化財群3 茨城の真ん中で発展したまち 構成文化財所在地図



類型	No.	名称
有形文化財	建造物	1 旧水戸城薬医門
		2 祐月本店雛蔵
		3 水戸市民会館
		4 旧川崎銀行
		5 泉町会館
		6 茨城県庁
		7 水戸芸術館
		8 大工町交番
		9 旧中島商店
		10 水戸駅上りホーム運転詰所
		11 水戸駅前のからくり時計
		12 水戸地方气象台
		13 旧茨城県庁
		14 大手橋
		15 水府橋
有形文化財	絵画	16 水戸市鳥瞰図原図
		17 水戸駅前炎上図
有形文化財	古文書	18 水戸御用留
		19 水戸町方御用留
有形文化財	考古資料	20 台渡里官衙遺跡出土銅印
		21 台渡里麁寺跡南方地区第1号工房跡出土資料
		22 水戸城二の丸角櫓跡出土鬼瓦
		23 台渡麁寺跡出土遺物
		24 七面製陶所跡第1～3次出土遺物
		25 水戸城跡出土一括埋納銭
		26 水戸城跡出土遺物
有形文化財	歴史資料	27 木村家住宅 水戸空襲遺構(附焼夷弾1点)

類型	No.	名称
有形文化財	歴史資料	28 空襲予告ビラ
		29 焼夷弾(水戸投下分)
		30 水戸城下絵図
		31 水戸案内
		32 水戸拓附版木
無形文化財	33	水府提灯
		旧弘道館
記念物	遺跡(史跡)	34 旧弘道館
		35 台渡里官衙遺跡群(台渡里官衙遺跡・台渡里麁寺跡)
		36 水戸城跡(塹及び濠)
		37 水戸神社跡
		38 歴史の道 近世那須道
		39 歴史の道 近世宇都宮道
		40 七面製陶所跡
		41 水戸鑄銭所跡
		42 釜神町遺跡
		43 陸軍衛戍跡
		44 歴史の道 近世飯沼道
		45 歴史の道 近世岩城相馬道
		46 歴史の道 近世棚倉通・南郷道
		47 囲裏窯跡
		48 大鋸町遺跡
		49 東組遺跡
		50 柳堤跡
		51 水戸城惣構
		52 江戸(水戸)街道宿場跡
		53 江戸街道起点
その他の文化財	石造物	54 弘道館記碑
		行事・イベント
	特産品	56 水戸金工
		57 水戸黒
		58 水戸の武道具
	戦争の記憶	59 水戸彫
		60 戦争の記憶 水戸空襲
	水戸の景観	61 茨城県庁展望台からの眺めと茨城県庁舎
		62 水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁堀
		63 水戸市役所本庁舎
		64 ハミングロード
		65 中心市街地のまちなみ
		66 宮下銀座

※特産品及び戦争の記憶は図中に番号なし



序章
第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章
第9章
資料



④ 課題・方針

- 本ストーリーは、近世の学びにも関連が深く、構成文化財を生かし「近世日本の教育遺産群」の発信や活用を進めていく必要があります。そのため、教育遺産群の世界遺産登録に向けた取組を進めるとともに、日本遺産を生かした魅力発信を推進します。→措置1-2、3-3
- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通じた情報発信、刊行物の刊行、講演会の開催、説明板の設置等を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーは景観との関わりが深く、こうした水戸ならではの歴史・自然景観を将来の世代に伝えていく必要があります。そのため、風致地区や景観ガイドライン等による規制や誘導を適切に推進するとともに、森林や水辺環境等の保全・形成を推進します。→措置2-2
- 本ストーリーのうち、台渡里官衙遺跡群は古代の「真ん中」を伝える重要な文化財であり、適切な保存・活用により将来の世代に伝えていく必要があります。そのため、保存活用計画作成を進めるとともに、魅力発信交流拠点としての活用方策を検討します。→措置2-3、3-2
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、関連施策を推進するとともに、適切な進行管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を生かし、楽しめる交流拠点づくりを進めていく必要があります。そのため、各構成文化財が所在する地域において、文化財を活用した様々な施策を推進します。→措置3-2
- 本ストーリーや構成文化財は外国人にとっても魅力が高く、国際的な視野で活用を図っていく必要があります。そのため、多角的なインバウンド観光を推進し、受入体制の充実を図ります。→措置3-3
- 本ストーリーや構成文化財は、水戸らしさを伝える文化財（→112ページ）が含まれており、その活用を図っていく必要があります。水戸の歴史に裏打ちされたまつり、生活文化、食文化、伝統工芸等について、活用に係る施策を推進します。→措置3-4
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5



- 本ストーリー及び構成文化財は、戦争にも関連しています。戦争経験者が高齢化していく中、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを伝えていく必要があります。そのため、ぴ〜すプロジェクト等により、ストーリー及び構成文化財を生かした平和事業を推進します。→措置3-6
 - 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1
 - 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2
- ⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名	措置内容	継続／新規	取組主体					計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
1-2-1	世界遺産登録に向けた取組の推進	継続	◎	*	*	*	*	■	■
1-2-2	世界遺産シンポジウム・講演会等の開催	継続	◎		*		*	■	■
1-2-3	教育遺産世界遺産登録推進協議会を通じた広域連携	継続	◎	*	*	*	*	■	■
1-3-1	ホームページの充実	継続	◎					■	■
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	継続	◎					■	■
1-3-4	刊行物による情報発信	継続	◎					■	■
1-3-5	シンポジウム・講演会等の開催	継続	◎		◎	◎	◎	■	■
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	継続	◎	○	◎			■	■
1-3-7	多言語対応の強化	継続	◎					■	■
2-2-2	景観ガイドライン等による景観誘導	継続	◎		○			■	■
2-2-3	公共施設における先導的な景観形成	継続	◎					■	■
2-2-4	水戸ならではの景観の形成	継続	◎		○			■	■
2-2-5	水戸城土塁(法面)の整備	継続	◎					■	■
2-3-8	台渡里官衙遺跡群の保存活用計画の作成	継続	◎	*				■	■
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	新規	◎					■	■



第8章 関連文化財群

措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間		
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期	
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	災害発生時に即時対応できるよう、茨城史料ネット、県立歴史館等との連携を強化し、レスキュー体制の構築に努めます。	新規	◎				◎	■	■
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	水戸ならではの歴史的景観の保全・形成に取り組むとともに、歴史的資源の適切な保存・活用を図るなど、天下の魁・水戸にふさわしい風格ある歴史まちづくりを進めます。	継続	◎	*	*	*		■	■
3-2-1	水戸城歴史的建造物を活用した魅力づくり	【弘道館・水戸城跡周辺地区】水戸城歴史的建造物である大手門や二の丸櫓等を活用し、講座やイベントを開催しながら、水戸ならではの歴史を感じることでできる魅力づくりを推進します。	継続	◎					■	■
3-2-2	民官連携による年間を通してにぎわいづくり	【弘道館・水戸城跡周辺地区】民間事業者等の主体による、地区の魅力向上及び誘客促進につながるイベントの開催を支援します。	継続	◎			○		■	■
3-2-3	朝型・夜型イベントの充実	【弘道館・水戸城跡周辺地区】地区に有する地域資源を最大限活用しながら、民官連携により朝型・夜型イベントを創出し、観光客の滞在時間の延長や宿泊客の増加につなげます。	継続	◎			○		■	■
3-2-4	歴史的景観の改修整備	【弘道館・水戸城跡周辺地区】水戸学の道の改修を行うなど、地区の道路景観改修整備を推進します。	継続	◎					■	■
3-2-16	台湾里官衙遺跡群の活用方策の検討	国史跡台湾里官衙遺跡群について、地域住民等との協働のもと、新たな魅力発信交流拠点としての活用方策を検討します。	継続	◎		○	*		■	■
3-3-1	日本遺産を生かしたブランド力の向上	日本遺産「近世日本の教育遺産群－学ぶ心・礼節の本源－」について、関係自治体や市民との協働により、教育や観光に活用するなど、ブランド力の向上を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-3-2	日本遺産フェスティバルin水戸の開催	全国の日本遺産ストーリーが集結する日本遺産フェスティバルを2028(令和10)年度に開催し、まちなかの活性化を図ります。	新規	◎		*	*		■	
3-3-3	教育遺産群地域プレーヤーの育成	構成文化財を理解し、教育遺産群に関する事業を将来的に担う地域プレーヤーを育成します。	継続	◎		○			■	■
3-3-4	県内日本遺産認定都市間の連携	日本遺産認定ストーリーの所在市である笠間市(かさましこ)及び牛久市(日本ワイン140年史)と連携した講演会やイベントを開催するなど、県内日本遺産の魅力を発信します。	継続	◎					■	■
3-3-5	二の丸展示館における展示の充実	二の丸展示館において、日本遺産に関する展示を適宜更新し、ビジターセンターとしての機能の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-3-6	インバウンド観光の推進	水戸市インバウンド推進機構と連携しながら、ターゲットを絞ったSNS等の活用による戦略的プロモーションの実施と、多言語対応等による受入体制の充実を図ります。	継続	◎			○		■	■
3-4-1	各種まつりの充実	水戸ならではの歴史、文化、食、体験等の資源を活用しながら、まつり・イベントの充実を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-4-3	歴史的資源、花火、納豆や水府提灯等の特産品を活用したブランディング	集客力のあるイベントにおいて、弘道館・偕楽園をはじめとする水戸徳川家ゆかりの歴史的資源や、花火、納豆、水府提灯等の地域資源を活用したコンテンツの実施及びPRを行います。	継続	◎			○		■	■
3-4-4	水戸の誇る食文化の発信	ホームページやSNS等を通じて本市の特産品である納豆の情報を発信するほか、納豆関連イベント等への支援を行い、「納豆のまち・水戸」のプロモーションを実施します。	継続	◎			○		■	■
3-4-5	水戸の誇る伝統文化の発信	まつり、花火、水府提灯等の伝統文化について、インフルエンサーの活用やインバウンド向けの発信等を戦略的に実施します。	継続	◎					■	■
3-4-8	グッズの制作・販売	文化財を活用したグッズを制作・販売し、文化財への愛着を促進するとともに、財源確保に努めます。	継続	◎					■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	市立博物館において、常設展示を適宜更新するとともに、特別展及び企画展を開催するなど、自然、歴史、美術、民俗資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■



措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	継続	◎						■ ■
3-5-4	水戸芸術館の運営充実	継続	◎						■ ■
3-6-2	戦争経験のアーカイブ化	継続	◎		○				■ ■
3-6-3	ぴ〜すプロジェクトの実施	継続	◎		*	*			■ ■
3-6-4	わたしは戦争を忘れないの開催	継続	◎		○				■ ■
3-6-5	戦後世代による戦争経験の継承	継続	◎		○				■ ■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進 (キャリアプラン)	継続	◎						■ ■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	継続	◎						■ ■
4-1-8	おもてなしボランティアの推進	継続	◎						■ ■
4-2-1	いきいき出前講座の推進	継続	◎						■ ■
4-2-9	図書、資料の充実	継続	◎						■ ■

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料

(4) 関連文化財群 4

① 名称 水戸家は天下の副将軍

② ストーリー

水戸藩は「御三家」の一つとして高い家格を有し、藩主は江戸に常駐していました。こうした他藩との格差により、藩内では「水戸家は天下の副将軍」という意識が広まり、近世以降の本市の歴史文化にも影響を与えました。

水戸藩の治世は約2世紀半にわたり、今日の県都水戸の基盤を形成しました。そのため、水戸城や水戸大神楽などの水戸藩ゆかりの文化財が、現在残っている文化財の中で最も多いのが特色です。特に第2代藩主・徳川光圀と第9代藩主・徳川齊昭は藩史に残る大事業を手掛けた藩主であり、多くの文化財からその足跡をうかがうことができます。

近代以降も「水戸黄門」は講談や映画、テレビドラマを通じて国民的キャラクターとなり、市民の活動やイベント、スポーツなどに活用され、水戸家は「水戸らしさ」の象徴となっています。(→87ページも参照)



③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	薬王院本堂	有形文化財	建造物	国指定	元吉田町
2	六地藏寺法寶蔵	有形文化財	建造物	市指定	六反田町
3	木造 聖徳太子立像	有形文化財	彫刻	国指定	酒門町
4	太刀(銘則包作 附糸巻太刀拵)	有形文化財	工芸品	国指定	緑町
5	銅製経筒	有形文化財	工芸品	県指定	天王町
6	総毛引紅糸威胴丸具足	有形文化財	工芸品	県指定	緑町
7	安神車	有形文化財	工芸品	市指定	宮町
8	常葉山時鐘	有形文化財	工芸品	市指定	宮町
9	銅造 燈籠	有形文化財	工芸品	市指定	宮町
10	五輪塔	有形文化財	工芸品	市指定	元吉田町
11	陣太鼓	有形文化財	工芸品	市指定	常磐町
12	太極砲	有形文化財	工芸品	市指定	常磐町
13	大串稻荷神社神輿並びに日月鉾	有形文化財	工芸品	市指定	大串町
14	陣太鼓附台車	有形文化財	工芸品	市指定	八幡町
15	刀(徳川齊昭作)	有形文化財	工芸品	市指定	緑町
16	弘道館学生警鐘	有形文化財	工芸品	未指定	三の丸
17	赤染茶椀	有形文化財	工芸品	未指定	八幡町
18	筒茶碗	有形文化財	工芸品	未指定	六反田町
19	六地藏寺所蔵典籍・文書	有形文化財	書跡・典籍	県指定	六反田町
20	左近詠草	有形文化財	書跡・典籍	市指定	緑町
21	紙本墨書徳川光圀書状	有形文化財	書跡・典籍	未指定	加倉井町
22	紙本墨書徳川綱條御文書、 紙本墨書徳川光圀御文書	有形文化財	書跡・典籍	未指定	八幡町



No.	名称	類型		指定	所在地
23	徳川光圀筆天徳寺心越禅師入院 賀章	有形文化財	書跡・典籍	未指定	八幡町
24	徳川光圀筆千字文ほか	有形文化財	書跡・典籍	未指定	元吉田町
25	一橋徳川家関係資料	有形文化財	歴史資料	国指定	緑町
26	徳川光圀書翰集	有形文化財	歴史資料	県指定	三の丸
27	訂正常陸国風土記版木 (附箱板 2 枚)	有形文化財	歴史資料	県指定	緑町
28	石河明善日記 附 学制略 1 部、 弘道館教育に関する意見書 1 部	有形文化財	歴史資料	市指定	大町
29	大日本史編纂記録	有形文化財	歴史資料	市指定	緑町
30	食菜録のレシピ	有形文化財	歴史資料	未指定	—
31	水戸藩追鳥狩画冊	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
32	歌合(徳川斉脩・峯姫)	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
33	大砲「奇」	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
34	徳川慶喜公御幼少時ノ日記	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
35	徳川光圀書詩稿(二首)	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
36	徳川斉昭書歌	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
37	徳川斉昭書簡	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
38	徳川頼房書簡 〔義宣御腫物氣に付後音を期す〕	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
39	賁竇閣図面	有形文化財	歴史資料	未指定	大町
40	徳川綱條筆扁額	有形文化財	歴史資料	未指定	元吉田町
41	徳川光圀扁額敬峰宗恭書	有形文化財	歴史資料	未指定	元吉田町
42	新田宮流抜刀術	無形文化財		市指定	北見町
43	北辰一刀流	無形文化財		市指定	北見町

序
章

第
1
章

第
2
章

第
3
章

第
4
章

第
5
章

第
6
章

第
7
章

第
8
章

第
9
章

資
料



No.	名称	類型		指定	所在地
44	水府流水術	無形文化財		市指定	城東
45	水戸大神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	県指定	元山町・常磐町
46	水戸の獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	元山町
47	大串のささらと大野のみろく	民俗文化財	無形の民俗文化財	国選択	大串町外
48	旧弘道館	記念物	遺跡(特別史跡)	国指定	三の丸
49	水戸城跡(壘及び濠)	記念物	遺跡(史跡)	県指定	三の丸
50	笠原水道	記念物	遺跡(史跡)	県指定	千波町外
51	千束原追鳥狩本陣跡	記念物	遺跡(史跡)	市指定	元石川町
52	義公生誕の地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	三の丸
53	酒門共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	酒門町
54	常磐共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	松本町
55	谷中中山家墓所	記念物	遺跡(史跡)	未指定	松本町
56	神勢館五町矢場跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	若宮
57	一遊亭跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
58	高枕亭跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
59	玉龍泉	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川
60	桜の牧跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	見川町
61	水戸藩御用神楽屋敷跡 水戸大神楽発祥之地	記念物	遺跡(史跡)	未指定	元台町
62	水戸城惣構	記念物	遺跡(史跡)	未指定	中心市街地
63	神崎鑄砲所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	天王町
64	白旗山下製作所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	八幡町
65	漱石所跡	記念物	遺跡(史跡)	未指定	笠原町



No.	名称	類型		指定	所在地
66	常磐公園(偕楽園)	記念物	遺跡(史跡)・名勝地(名勝)	国指定	常磐町外
67	保和苑	記念物	名勝地(名勝)	市認定	松本町
68	水戸八景	記念物	名勝地(名勝)	未指定	青柳町外
69	秋成新田	記念物	名勝地(名勝)	未指定	秋成町外
70	河和田八景	記念物	名勝地(名勝)	未指定	河和田町外
71	千波沼八景	記念物	名勝地(名勝)	未指定	常磐町外
72	弘道館記碑	その他の文化財	石造物	未指定	三の丸
73	偕楽園記碑	その他の文化財	石造物	未指定	常磐町
74	水戸黄門まつり	その他の文化財	行事・イベント	未指定	泉町外
75	七面焼	その他の文化財	特産品	未指定	—
76	農人形	その他の文化財	特産品	未指定	—
77	黄門料理	その他の文化財	特産品	未指定	—
78	水戸藩らーめん	その他の文化財	特産品	未指定	—
79	吉原殿中	その他の文化財	特産品	未指定	—
80	水戸光圀お手植えの桜	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
81	水戸光圀黄門さまと老婆	その他の文化財	民話・伝説	未指定	—
82	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁塀	その他の文化財	水戸の景観	未指定	三の丸

- 序章
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- 第7章
- 第8章
- 第9章
- 資料



- ：有形文化財
- ：無形文化財・民俗文化財
- ：記念物
- ：その他の文化財

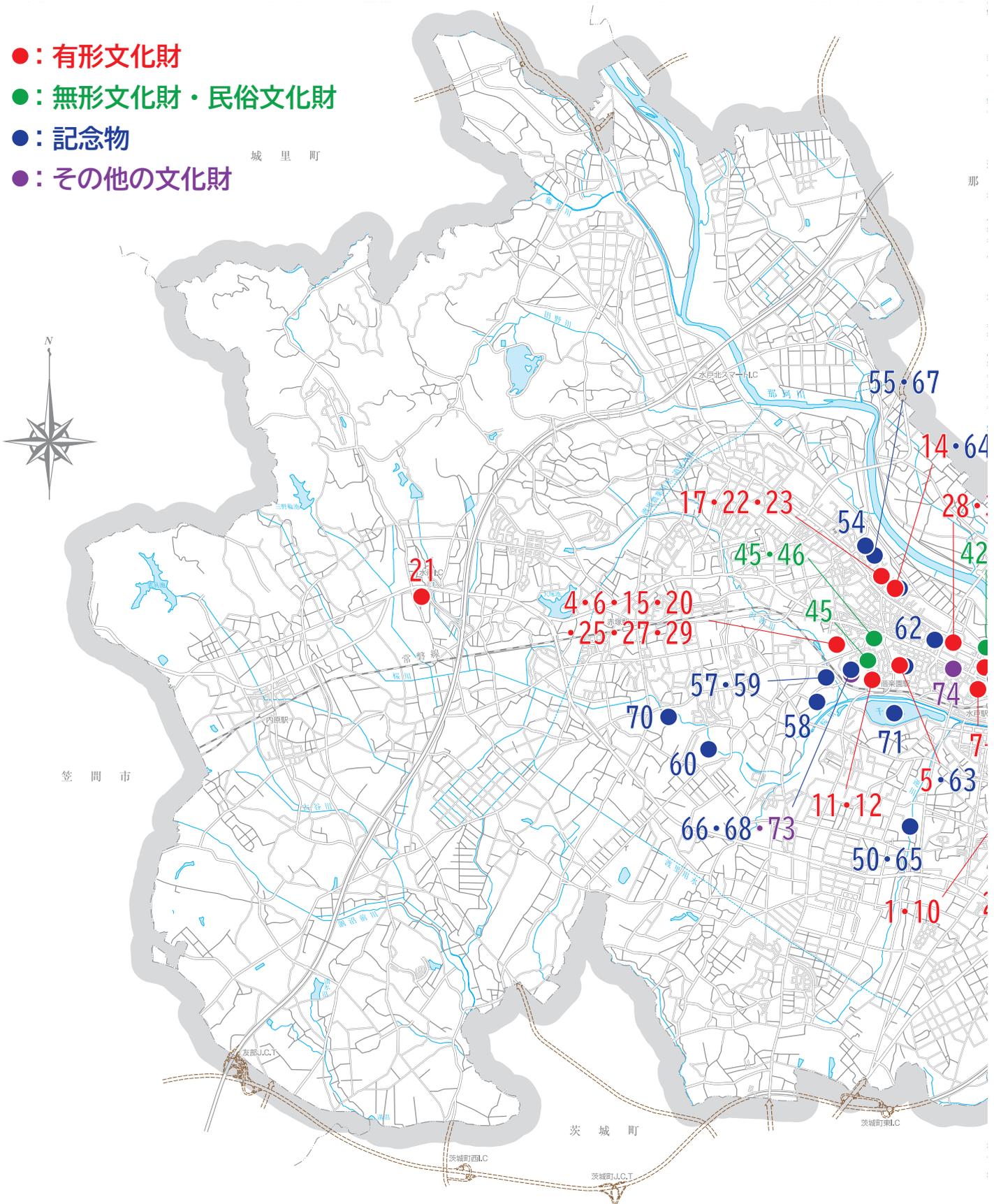


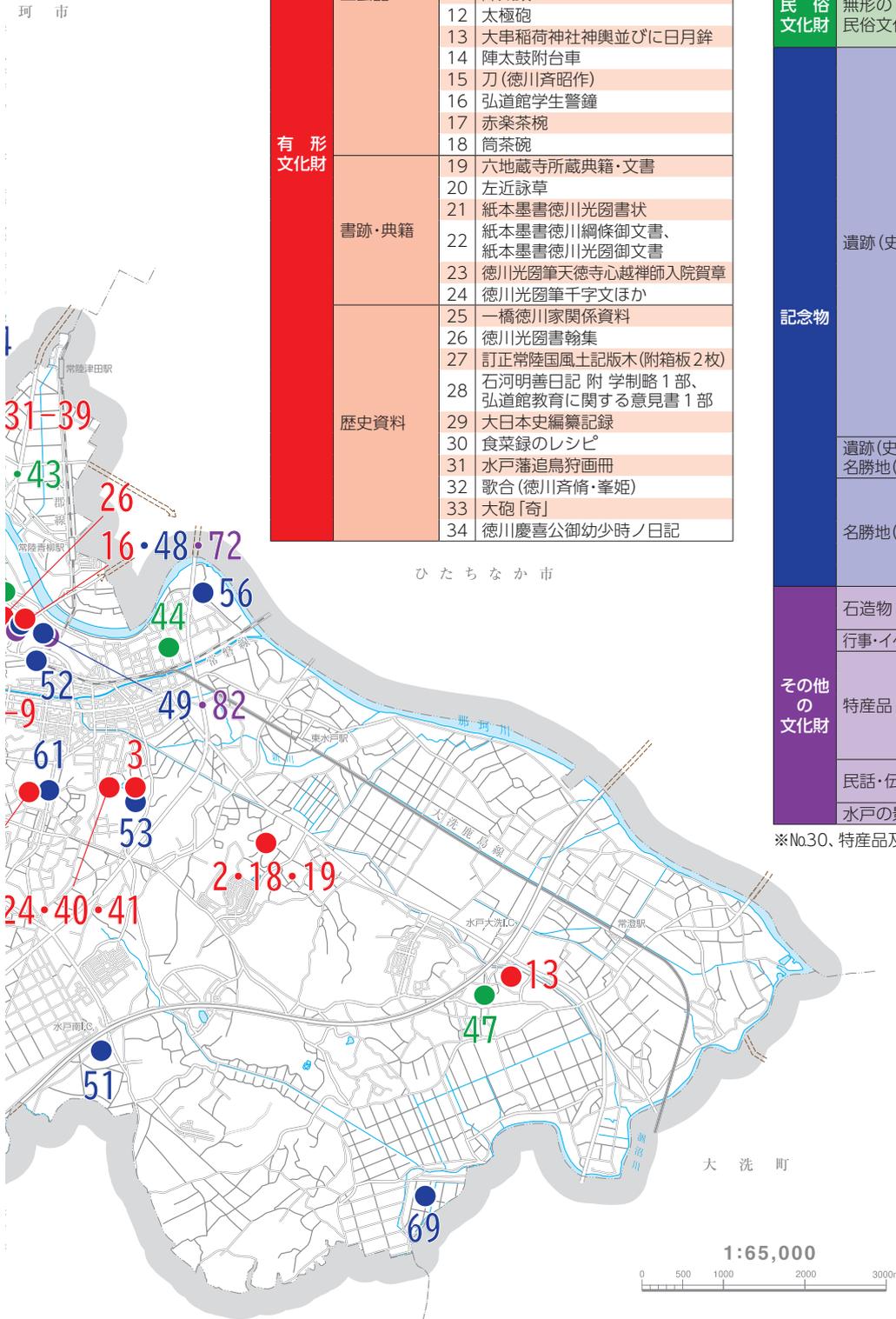
図8-5 関連文化財群4 水戸家は天下の副将軍 構成文化財所在地図



類型	No.	名称
有形文化財	1	薬王院本堂
	2	六地藏寺法寶藏
	3	彫刻 木造 聖徳太子立像
	4	太刀(銘則包作 附糸巻太刀拵)
	5	銅製経筒
	6	総毛引紅糸威胴丸具足
	7	安神車
	8	常葉山時鐘
	9	銅造 燈籠
	10	五輪塔
	11	陣太鼓
	12	太極砲
	13	大串稻荷神社神輿並びに日月鉾
	14	陣太鼓附台車
	15	刀(徳川斉昭作)
	16	弘道館学生警鐘
	17	赤楽茶椀
	18	筒茶碗
書跡・典籍	19	六地藏寺所蔵典籍・文書
	20	左近詠草
	21	紙本墨書徳川光圀書状
	22	紙本墨書徳川綱條御文書、紙本墨書徳川光圀御文書
	23	徳川光圀筆天徳寺心越禪師入院賀草
	24	徳川光圀筆千字文ほか
	25	一橋徳川家関係資料
	26	徳川光圀書翰集
歴史資料	27	訂正常陸国風土記版木(附箱板2枚)
	28	石河明善日記 附 学制略1部、弘道館教育に関する意見書1部
	29	大日本史編纂記録
	30	食菜録のレシピ
	31	水戸藩追鳥狩画冊
	32	歌合(徳川斉脩・峯姫)
	33	大砲「奇」
	34	徳川慶喜公御幼少時ノ日記

類型	No.	名称		
有形文化財	歴史資料	35	徳川光圀書詩稿(二首)	
		36	徳川斉昭書歌	
		37	徳川斉昭書簡	
		38	徳川頼房書簡(義宣御禮物氣に付後音を期す)	
		39	眞寶閣図面	
無形文化財		40	徳川光圀扁額敬峰宗恭書	
		42	新田宮流抜刀術	
		43	北辰一刀流	
民俗文化財	無形の民俗文化財	44	水府流水術	
		45	水戸大神楽	
		46	水戸の獅子舞	
		47	大串のささらと大野のみろく	
		48	旧弘道館	
記念物	遺跡(史跡)	49	水戸城跡(塙及び濠)	
		50	笠原水道	
		51	千束原追鳥狩本陣跡	
		52	義公生誕の地	
		53	酒門共有墓地	
		54	常磐共有墓地	
		55	谷中中山家墓所	
		56	神勢館五町矢場跡	
		57	一遊亭跡	
		58	高枕亭跡	
		59	玉龍泉	
		60	桜の牧跡	
		61	水戸藩御用神楽屋敷跡水戸大神楽発祥之地	
		62	水戸城惣構	
		63	神崎鑄砲所跡	
64	白旗山下製作所跡			
65	漱石所跡			
記念物	遺跡(史跡)・名勝地(名勝)	66	常磐公園(偕楽園)	
		67	保和苑	
		68	水戸八景	
記念物	名勝地(名勝)	69	秋成新田	
		70	河和田八景	
		71	千波沼八景	
その他の文化財	石造物	72	弘道館記碑	
		73	偕楽園記碑	
	行事・イベント	74	水戸黄門まつり	
	特産品		75	七面焼
			76	農人形
			77	黄門料理
			78	水戸藩ラーメン
			79	吉原殿中
	民話・伝説		80	水戸光圀お手植えの桜
			81	水戸光圀黄門さまと老婆
水戸の景観	82	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁塀		

※No.30、特産品及び民話・伝説は図中に番号なし



序章
第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章
第9章
資料



④ 課題・方針

- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通じた情報発信、刊行物の刊行、講演会の開催、説明板の設置等を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーの構成文化財である水戸城跡については、本市が誇るべき主要な歴史的景観であり、保存措置を講じ、未来に伝えていく必要があります。そのため、土塁整備を進め、本ストーリーにふさわしい景観の保全形成に努めます。→措置2-2
- 本ストーリーの構成文化財は、わが国の歴史上重要な要素を多く含んでおり、わが国全体の視点から将来の世代に伝えていく必要があります。そのため、国指定を含め、文化財の性質に応じた保存措置を講じていきます。→措置2-3
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、関連施策を推進するとともに、適切な進行管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力を生かし、楽しめる交流拠点づくりを進めていく必要があります。そのため、各構成文化財が所在する地域において、文化財を活用した様々な施策を推進します。→措置3-2
- 本ストーリーや構成文化財は外国人にとっても魅力度が高く、国際的な視野で活用を図っていく必要があります。そのため、多角的なインバウンド観光を推進し、受入体制の充実を図ります。→措置3-3
- 本ストーリーや構成文化財は、水戸らしさを伝える文化財（→112ページ）が含まれており、その活用を図っていく必要があります。水戸の歴史に裏打ちされたまつり、生活文化、食文化、伝統工芸等について、活用に係る施策を推進します。→措置3-4
- 本ストーリーや構成文化財の魅力伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5
- 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1
- 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2



⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
1-3-1	ホームページの充実	継続	◎					■	■
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	継続	◎					■	■
1-3-4	刊行物による情報発信	継続	◎					■	■
1-3-5	シンポジウム・講演会等の開催	継続	◎		◎	◎	◎	■	■
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	継続	◎	○	◎			■	■
1-3-7	多言語対応の強化	継続	◎					■	■
2-2-5	水戸城土塁(法面)の整備	継続	◎					■	■
2-3-6	指定相当の埋蔵文化財の現地保存に向けた検討	継続	◎	*		*		■	■
2-3-7	市外にある関連史跡等の保存への支援	継続	◎	○	○			■	■
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	新規	◎					■	■
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	新規	◎				◎	■	■
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	継続	◎	*	*	*		■	■
3-2-1	水戸城歴史的建造物を活用した魅力づくり	継続	◎					■	■
3-2-2	民官連携による年間を通したにぎわいづくり	継続	◎			○		■	■
3-2-3	朝型・夜型イベントの充実	継続	◎			○		■	■
3-2-4	歴史的景観の改修整備	継続	◎					■	■
3-2-5	梅まつりをはじめ年間を通した民官連携イベントの充実	継続	◎			○		■	■
3-2-7	園路、広場等の整備	継続	◎					■	■
3-2-8	民間活力等を活用した魅力的な空間演出	継続	◎			◎		■	■

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

資料



第8章 関連文化財群

措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間		
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期	
3-2-9	千波湖における環境学習会等の実施	【偕楽園・千波湖周辺地区】協働による千波湖学習会の開催等により、千波湖周辺の自然環境保全に係る意識の高揚を図ります。	継続	◎				○	■	■
3-2-10	偕楽園、千波湖、アダストリアみとアリーナ等と連携した回遊性を高める仕掛けづくりの推進	【偕楽園・千波湖周辺地区】偕楽園、千波湖、アダストリアみとアリーナ等と連携した回遊性向上に向けた事業を推進します。	継続	◎			○		■	■
3-2-11	既存施設のリノベーション	【保和苑周辺地区】魅力ある交流拠点の一つとしてにぎわいの創出を図るため、公園施設の更新や園路の整備等を実施するとともに、修景施設の整備を進めます。	継続	◎					■	■
3-2-12	あじさいまつりの充実	【保和苑周辺地区】近隣学校や地元商店会等と連携しながら、水戸のあじさいまつりの各コンテンツの充実を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-2-13	近隣学校等と連携した若い世代を呼び込む取組の推進	【保和苑周辺地区】近隣学校や地元商店会等と連携しながら、保和苑及び周辺史跡を活用した事業を実施し、年間を通して「水戸のロマンチックゾーン」に若い世代を呼び込みます。	継続	◎		○	○		■	■
3-3-5	二の丸展示館における展示の充実	二の丸展示館において、日本遺産に関する展示を適宜更新し、ビジターセンターとしての機能の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-3-6	インバウンド観光の推進	水戸市インバウンド推進機構と連携しながら、ターゲットを絞ったSNS等の活用による戦略的プロモーションの実施と、多言語対応等による受入体制の充実を図ります。	継続	◎			○		■	■
3-4-1	各種まつりの充実	水戸ならではの歴史、文化、食、体験等の資源を活用しながら、まつり・イベントの充実を図ります。	継続	◎		○	○		■	■
3-4-3	歴史的資源、花火、納豆や水府提灯等の特産品を活用したブランディング	集客力のあるイベントにおいて、弘道館・偕楽園をはじめとする水戸徳川家ゆかりの歴史的資源や、花火、納豆、水府提灯等の地域資源を活用したコンテンツの実施及びPRを行います。	継続	◎			○		■	■
3-4-4	水戸の誇る食文化の発信	ホームページやSNS等を通じて本市の特産品である納豆の情報を発信するほか、納豆関連イベント等への支援を行い、「納豆のまち・水戸」のプロモーションを実施します。	継続	◎			○		■	■
3-4-5	水戸の誇る伝統文化の発信	まつり、花火、水府提灯等の伝統文化について、インフルエンサーの活用やインバウンド向けの発信等を戦略的に実施します。	継続	◎					■	■
3-4-8	グッズの制作・販売	文化財を活用したグッズを制作・販売し、文化財への愛着を促進するとともに、財源確保に努めます。	継続	◎					■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	市立博物館において、常設展示を適宜更新するとともに、特別展及び企画展を開催するなど、自然、歴史、美術、民俗資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	埋蔵文化財センターにおける市内遺跡調査の成果をもとにした企画展を開催するなど、考古資料を生かした展示の充実を図ります。	継続	◎					■	■
3-5-6	植物公園の更なる魅力づくり	植物公園について、イベントや各種展示会の開催、体験学習の充実、遠足・旅行会・研究会の場としての利活用等の事業展開を通して、公園の更なる魅力づくりを推進します。	継続	◎					■	■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進(キャリアプラン)	郷土への理解と関心を深める教育や、芸術に触れ豊かな感性を育む教育を充実するとともに、様々な体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進します。	継続	◎					■	■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	かるた大会やかるためぐりを開催するとともに、かるたの更新を適宜行うなど、水戸郷土かるたの活用を通して、水戸の文化財や先人を楽しく学ぶ機会の充実を図ります。	継続	◎					■	■
4-1-8	おもてなしボランティアの推進	中学生による弘道館・偕楽園の観光案内や、小学生による「偕楽園記」暗誦披露など、歴史を活用したボランティア活動を通して、もてなしの心を育む教育の推進に努めます。	継続	◎					■	■



措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
4-2-1	いきいき出前講座の推進	継続	◎					■	■
4-2-9	図書、資料の充実	継続	◎					■	■

(5) 関連文化財群 5

① 名称 願いよ届け－信仰と祈りの歴史文化－

② ストーリー

科学技術が発達していなかった時代、信仰と祈りは人々の大きな心の拠り所となりました。日照り、水害、地震、疫病などの厄災を避け、豊かで健康な生活を望むために、人々は寺院や神社を建て、神仏像を作り、祭礼を催しました。

本市には薬王院、六地藏寺、佛性寺、善重寺、八幡宮等の拠点的な寺院や神社が集積し、これらの寺院や神社に残る多くの什宝がその歴史的特色を伝えています。

また、赤沼山薬師寺や春日神社等の村落内寺社、大串ささらばやしや大野みろくばやし等の無形の民俗文化財、庚申塔等の路傍に立つ無数の石造物が、地域の多様な信仰を物語っています。

さらに、水戸藩は神道や儒教による葬祭を奨励し、常磐共有墓地と酒門共有墓地といった国内に類を見ない儒式墓地が形成されるなど、神道・儒教・仏教が混交した特色ある信仰と祈りが展開しました。(→89ページも参照)

③ 構成文化財一覧

No.	名称	類型		指定	所在地
1	佛性寺本堂(附旧露盤1個)	有形文化財	建造物	国指定	栗崎町
2	薬王院本堂	有形文化財	建造物	国指定	元吉田町
3	八幡宮本殿	有形文化財	建造物	国指定	八幡町
4	春日神社本殿 附棟札2枚、扉板2枚	有形文化財	建造物	市指定	赤尾関町
5	鹿島神社本殿・拜殿・中門及び瑞垣(附設計図9点)	有形文化財	建造物	市指定	三の丸
6	杉崎八幡神社本殿	有形文化財	建造物	市指定	杉崎町
7	東光寺薬師堂及び厨子	有形文化財	建造物	市指定	大場町
8	中原不動尊本堂及び厨子	有形文化財	建造物	市指定	中原町
9	和光院不動堂	有形文化財	建造物	市指定	田島町
10	六地藏寺本堂(地藏堂)	有形文化財	建造物	市指定	六反田町



No.	名称	類型		指定	所在地
11	絹本着色 両界曼荼羅	有形文化財	絵画	県指定	六反田町
12	木造 聖徳太子立像	有形文化財	彫刻	国指定	酒門町
13	銅造 大黒天像	有形文化財	彫刻	県指定	河和田町
14	銅造 大日如来坐像及三十仏	有形文化財	彫刻	県指定	栗崎町
15	木造 薬師如来坐像	有形文化財	彫刻	県指定	元吉田町
16	木造 十二神将像	有形文化財	彫刻	県指定	元吉田町
17	鍍金仏	有形文化財	彫刻	県指定	緑町
18	木造 阿弥陀如来立像	有形文化財	彫刻	市指定	吉沼町
19	木造 神事面	有形文化財	彫刻	市指定	元山町
20	十一面観音像	有形文化財	彫刻	市指定	鯉淵町
21	木造 阿弥陀如来及両脇侍立像	有形文化財	彫刻	市指定	酒門町
22	木造 薬師如来坐像	有形文化財	彫刻	市指定	大場町
23	銅造 阿弥陀如来及両脇侍立像	有形文化財	彫刻	市指定	八幡町
24	銅造 阿弥陀如来立像	有形文化財	彫刻	市指定	飯富町
25	木造 十一面観音立像	有形文化財	彫刻	市指定	飯富町
26	木造 如意輪観音坐像	有形文化財	彫刻	市認定	内原町
27	朱漆足付盥	有形文化財	工芸品	国指定	六反田町
28	銅製経筒	有形文化財	工芸品	県指定	天王町
29	密教法具	有形文化財	工芸品	県指定	六反田町
30	灌頂用具	有形文化財	工芸品	県指定	六反田町
31	石造 宝篋印塔	有形文化財	工芸品	市指定	大串町
32	大串稻荷神社神輿並びに日月鉾	有形文化財	工芸品	市指定	大串町
33	黒漆金銅装八角神輿、台輪付き(附 瓔珞・風鐸・神鏡等装飾金具、案2脚、銘札2枚)	有形文化財	工芸品	市指定	八幡町
34	六地藏寺所蔵典籍・文書	有形文化財	書跡・典籍	県指定	六反田町
35	紙本墨書 傳燈山和光院過去帳	有形文化財	書跡・典籍	市指定	田島町
36	埴輪武装男子	有形文化財	考古資料	市指定	塩崎町
37	石枕・立花	有形文化財	考古資料	市指定	内原町
38	三角縁神獸鏡残欠	有形文化財	考古資料	市指定	緑町
39	加倉井砂山夫妻の墓	有形文化財	歴史資料	市指定	成沢町



No.	名称	類型		指定	所在地
40	林十江の墓石	有形文化財	歴史資料	市指定	元吉田町
41	五輪塔	有形文化財	歴史資料	市指定	千波町
42	算額	有形文化財	歴史資料	市指定	大場町
43	板碑	有形文化財	歴史資料	市指定	平戸町
44	伝三ノ町出土常総系双式板碑	有形文化財	歴史資料	市指定	六反田町
45	板碑	有形文化財	歴史資料	市指定	六反田町
46	見川一本松の供養塔	民俗文化財	有形の民俗文化財	市認定	見川
47	水戸大神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	県指定	元山町・常磐町
48	吉田神社の秋季祭礼	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	宮内町
49	有賀神社の磯渡御	民俗文化財	無形の民俗文化財	市指定	有賀町
50	大串のささらと大野のみろく	民俗文化財	無形の民俗文化財	国選択	大串町外
51	薬師堂の民間信仰資料群	民俗文化財	無形の民俗文化財	市認定	上国井町
52	向井町の散々楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	市認定	元山町
53	唯円道場跡伝承地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	河和田町
54	武田耕雲斎の墓	記念物	遺跡(史跡)	市指定	見川
55	酒門共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	酒門町
56	常磐共有墓地	記念物	遺跡(史跡)	市指定	松本町
57	水戸殉難志士の墓	記念物	遺跡(史跡)	市指定	松本町
58	会沢正志斎の墓	記念物	遺跡(史跡)	市指定	千波町
59	親鸞聖人御田植の伝承地	記念物	遺跡(史跡)	市認定	飯富町
60	双体道祖神	その他の文化財	石造物	未指定	中丸町
61	朝房山の神蛇	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－
62	阿弥陀さまと盗人	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－
63	雷を蹴上げた観音さま	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－
64	親鸞身代わり名号	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－
65	八幡宮と火伏せの神	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－
66	弁天様と白蛇	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－
67	日本武尊朝日三角山	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－
68	六地藏寺と牛塚	その他の文化財	民話・伝説	未指定	－

序章
第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章
第9章
資料



- ：有形文化財
- ：無形文化財・民俗文化財
- ：記念物
- ：その他の文化財

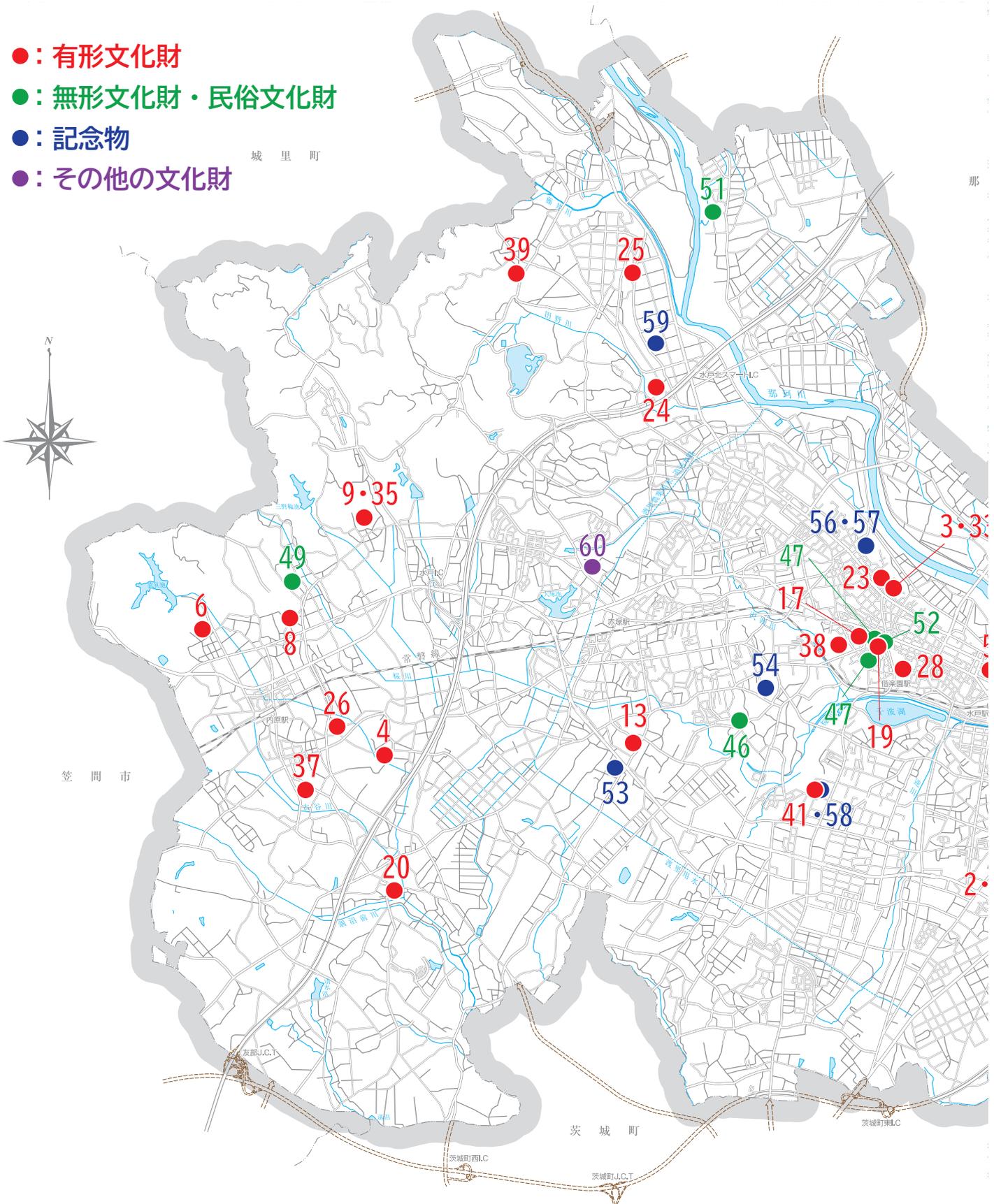


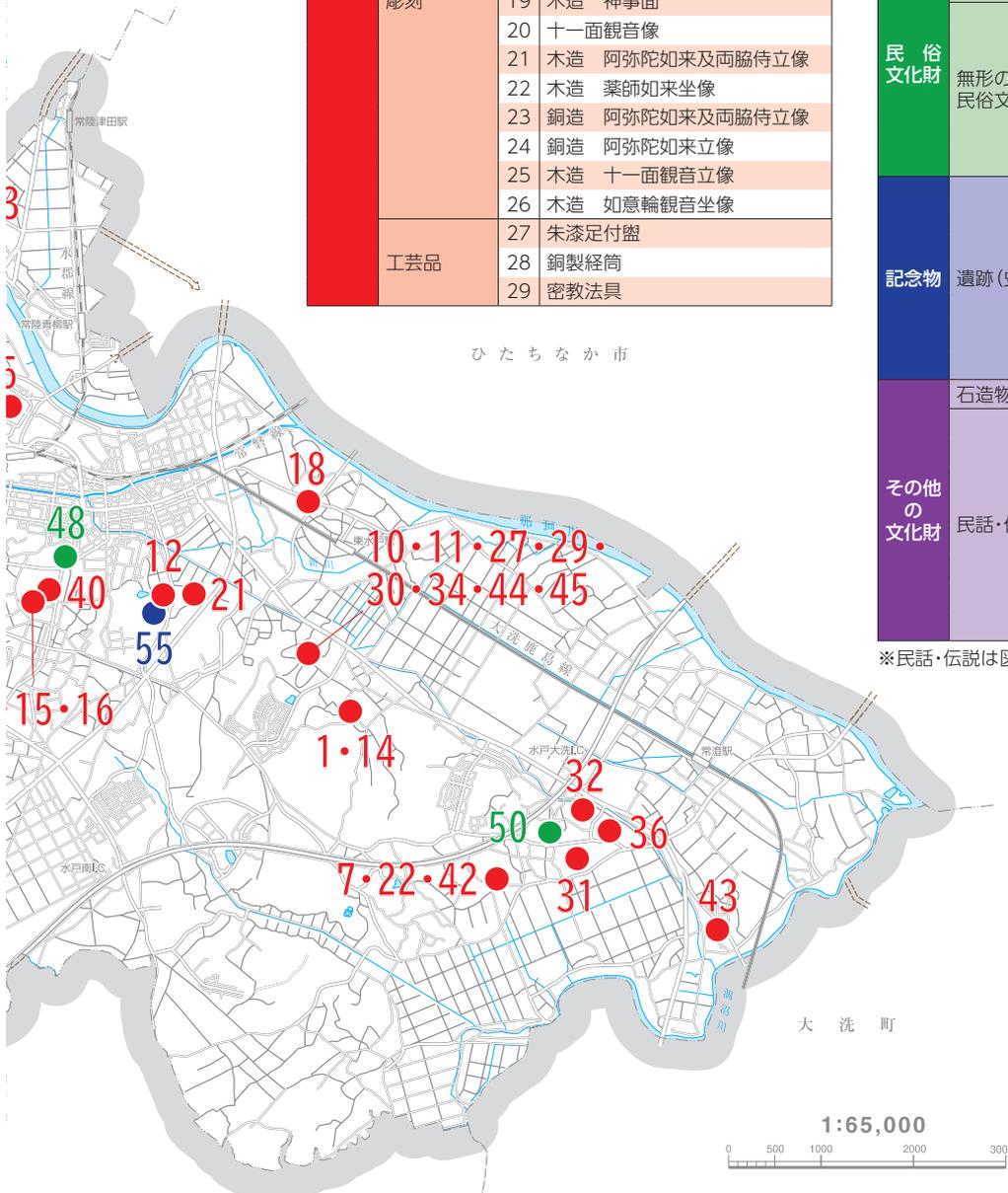
図8-6 関連文化財群5 願いや届け—信仰と祈りの歴史文化— 構成文化財所在地図



類型	No.	名称
有形文化財 建造物	1	佛性寺本堂(附旧露盤1個)
	2	薬王院本堂
	3	八幡宮本殿
	4	春日神社本殿 附棟札2枚、扉板2枚
	5	鹿島神社本殿・拜殿・中門及び瑞垣(附設計図9点)
	6	杉崎八幡神社本殿
	7	東光寺薬師堂及び厨子
	8	中原不動尊本堂及び厨子
	9	和光院不動堂
	10	六地藏寺本堂(地藏堂)
絵画	11	絹本着色 両界曼荼羅
有形文化財 彫刻	12	木造 聖徳太子立像
	13	銅造 大黒天像
	14	銅造 大日如来坐像及三十仏
	15	木造 薬師如来坐像
	16	木造 十二神将像
	17	鍍金仏
	18	木造 阿弥陀如来立像
	19	木造 神事面
	20	十一面観音像
	21	木造 阿弥陀如来及両脇侍立像
	22	木造 薬師如来坐像
	23	銅造 阿弥陀如来及両脇侍立像
	24	銅造 阿弥陀如来立像
	25	木造 十一面観音立像
	26	木造 如意輪観音坐像
	有形文化財 工芸品	27
28		銅製経筒
29		密教法具

類型	No.	名称
有形文化財 工芸品	30	灌頂用具
	31	石造 宝篋印塔
	32	大串稲荷神社神輿並びに日月鉢
	33	黒漆金銅装八角神輿、台輪付き(附 瓔珞・風鐸・神鏡等裝飾金具、案2脚、銘札2枚)
		六地藏寺所蔵典籍・文書
有形文化財 書跡・典籍	34	六地藏寺所蔵典籍・文書
	35	紙本墨書 傳燈山和光院過去帳
有形文化財 考古資料	36	埴輪武装男子
	37	石枕・立花
	38	三角縁神獸鏡残欠
	39	加倉井砂山夫妻の墓
	40	林十江の墓石
	41	五輪塔
	42	算額
	43	板碑
	44	伝三ノ町出土常総系双式板碑
	45	板碑
民俗文化財 有形の民俗文化財	46	見川一本松の供養塔
	47	水戸大神楽
民俗文化財 無形の民俗文化財	48	吉田神社の秋季祭礼
	49	有賀神社の磯渡御
	50	大串のささらと大野のみろく
	51	薬師堂の民間信仰資料群
	52	向井町の散々楽
記念物 遺跡(史跡)	53	唯円道場跡伝承地
	54	武田耕雲斎の墓
	55	酒門共有墓地
	56	常磐共有墓地
	57	水戸殉難志士の墓
	58	会沢正志斎の墓
	59	親鸞聖人御田植の伝承地
その他の文化財 石造物	60	双体道祖神
	61	朝房山の神蛇
	62	阿弥陀さまと盗人
	63	雷を蹴上げた観音さま
	64	親鸞身代わり名号
	65	八幡宮と火伏せの神
	66	弁天様と白蛇
	67	日本武尊朝日三角山
	68	六地藏寺と牛塚
その他の文化財 民話・伝説		

河市



※民話・伝説は図中に番号なし

- 序章
- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- 第7章
- 第8章
- 第9章
- 資料



④ 課題・方針

- 本ストーリーと構成文化財との関連について、市民に効果的に情報発信していく必要があります。そのため、ホームページ、SNS等のWEBを通じた情報発信、刊行物の刊行、説明板の設置等を推進します。→措置1-3
- 本ストーリーに関連する構成文化財をデジタル上で保存し、市民に共有していく必要があります。そのため、三次元レーザ測量やフォトグラメトリ等の新技術を応用し、文化財のDXを進めます。→措置2-4
- 本ストーリーに関連する構成文化財を災害から守り、将来に伝えていくため、文化財防災対策を講じていく必要があります。そのため、災害発生時の文化財レスキュー体制を構築するなど、文化財の防犯・防災を推進します。→措置2-5
- 本ストーリーに関連する歴史的風致を生かしたまちづくりを長期的に進めていく必要があります。そのため、市歴史的風致維持向上計画に基づき、関連施策を推進するとともに、適切な進行管理を行います。→措置3-1
- 本ストーリーや構成文化財の魅力伝えるため、本市に集積する様々な博物館を有効活用していく必要があります。そのため、市立博物館等の博物館において、展覧会やイベント等を実施するなど、魅力ある活動を推進します。→措置3-5
- 本ストーリー及び構成文化財は、戦争にも関連しています。戦争経験者が高齢化していく中、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを伝えていく必要があります。そのため、ぴ〜すプロジェクト等により、ストーリー及び構成文化財を生かした平和事業を推進します。→措置3-6
- 本ストーリーや構成文化財を子育て、学校教育に生かし、郷土愛の醸成を図っていく必要があります。そのため、水戸スタイルの教育をはじめ、こどもが文化財を学び、親しめる施策を推進します。→措置4-1
- 本ストーリーや構成文化財を生涯学習に生かしていく必要があります。そのため、いきいき出前講座等を活用した生涯学習活動や図書、資料の充実に努めます。→措置4-2
- 本ストーリーや構成文化財は無形の民俗文化財に深く関わっていますが、その継承が課題になっています。そのため、学校教育、生涯学習等様々な機会を通して、民俗芸能の継承への支援を推進していきます。→措置4-1、2



⑤ 措置 ※表の見方は122ページを参照

措置名	措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画期間	
			行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期
1-3-1	ホームページの充実	継続	◎					■	■
1-3-2	SNS、動画配信サービスを活用した情報発信	継続	◎					■	■
1-3-4	刊行物による情報発信	継続	◎					■	■
1-3-6	説明板、案内板、標柱、サイン、銅像等の修繕・新設	継続	◎	○	◎			■	■
1-3-7	多言語対応の強化	継続	◎					■	■
2-4-1	新技術を応用した文化財保存・活用のDX	新規	◎					■	■
2-5-6	防災設備の整備促進	継続	○	◎				■	■
2-5-7	防火対象物への立入検査の強化	継続	◎	○				■	■
2-5-8	文化財防火デーの実施	継続	◎	○	○			■	■
2-5-10	関連機関・団体と連携した文化財レスキュー体制の構築	新規	◎				◎	■	■
3-1-1	歴史的風致維持向上計画に基づく施策の推進	継続	◎	*	*	*		■	■
3-5-1	市立博物館における展示の充実	継続	◎					■	■
3-5-2	埋蔵文化財センターにおける展示の充実	継続	◎					■	■
4-1-1	水戸スタイルの教育の推進(キャリアプラン)	継続	◎					■	■
4-1-4	水戸郷土かるたの活用	継続	◎					■	■
4-1-6	伝統文化親子教室の開催支援	継続	◎	○				■	■

序章
第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章
第9章
資料



措置名		措置内容	継続 ／ 新規	取組主体					計画 期間		
				行政	所有	市民	民間	専門	前期	後期	
4-2-1	いきいき出前講座の推進	市民に市政に対する理解を深めてもらい、地域の課題を市民と行政が一体となって考える機会とするため、「いきいき出前講座」の活用を促進します。	継続	◎						■	■
4-2-7	水戸市郷土民俗芸能のつどいの開催支援	(一社)水戸市郷土民俗芸能団体協議会が主催する「水戸市郷土民俗芸能のつどい」の開催支援を通して、民俗芸能の魅力を広く発信します。	継続	◎			○			■	■
4-2-8	民俗芸能団体への支援の充実	民俗芸能団体に対し、市独自の補助金を交付するとともに、広報や発表機会を提供するなど、多角的な支援を通して民俗芸能の継承に努めます。	継続	◎						■	■
4-2-9	図書、資料の充実	市民の調査研究や学習活動を支えるため、郷土・行政資料をはじめ、幅広い分野の図書、資料の収集を推進します。	継続	◎						■	■